

新規採用者用被服一式（制服、活動服外）
特記仕様書

北秋田市消防本部

消防吏員冬制帽（男性）仕様書

北秋田市消防本部消防吏員（男性）が着用する冬制帽の仕様は次のとおりとする。

〈総 則〉

本仕様書の疑義については当消防本部係員に質問し、その指示によること。

細部については当消防本部係員が別に指示するが、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要と認められることは良心的に実施すること。

1 材料

- | | |
|--------|---|
| 1) 表生地 | ニッケ #660 C/# E
トップ染サージ
静電防止・強撥水・撥油加工
毛 99.5%
制電性繊維 0.5% |
| 2) ひさし | クラリーノ（ツヤ消し）とする。 |
| 3) アゴ紐 | ひさしと同じ |

2 型式 東消型とする。

3 縫製要領

- 1) 帽章はフェルト地を使用した金モール製帽章を本体に取り付ける。なお、この場合帽章の中央が中心となるようにし、帽章の一角が必ず頂点をさしていること。取り付け位置は別図のとおりとする。
- 2) ひさしはクラリーノとし、色は黒色ツヤなしとする。
- 3) あごひもは前ひさしの表と同色とし、色は黒色ツヤなしとする。
- 4) 腰（びん革）はデラクールを使用し、片織り玉縁とし、上下両端を飾りミシン縫いとする。
- 5) 前立バネは鋼入りバネを縫いつけたものとする。
- 6) 耳釦は真鍮製の金色署型とする。
- 7) 天張りはメガネ型ビニールを入れる。
- 8) 裏張りは汗切り用ビニールフィルムとする。

夏制帽（男性）仕様書

第1章 総則

（1）目的

この仕様書は、北秋田市消防本部が購入する消防吏員制帽（夏用）について必要な事項について定めることを目的とする。

（2）条件

この活動服（夏用）は、十分に品質管理を行った材料及び付属品を用いた、仕上がりが優美な製品であること。

（3）費用

当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した額のとおりとし、追加支出は一切認めない。従ってデザイン料その他について、問題等が生じた場合には受注者の責任において解決するものとする。

1 材料

- | | |
|----------|---|
| 1）表地 品 名 | ニッケ <EWF4020> C/# 指定色 トロピカル
(詳細は別表による) |
| 2）ひさし | ビニールレザー（エナメル仕上げ）とする。 |
| 3）メッシュ | 東レ#2221 ポリエステル 100% |

2 型式 東消型とする。

3 縫製要領

- 1）帽章は表地を使用した金モール製帽章を本体前部に取り付ける。
なお、この場合帽章の中央が中心となるようにし、帽章の一角が必ず頂点をさしていること。取り付け位置は別図のとおりとする。
- 2）ひさしはビニールレザーとし、色は黒色ツヤ消しとする。
- 3）あごひもは前ひさしの表と同色の皮とし、色は黒色ツヤ消しとする。
- 4）腰（びん革）はデラクールを使用し、片織り玉縁とし、上下両端を飾りミシン縫いとする。
- 5）前立バネは扇型ポリエチレン板に、鋼入りバネを縫いつけたものとする。
- 6）耳釦は真鍮製の金色署型とする。
- 7）天張りは硬質ビールに19番銅線を2本入れたものとする。
- 8）裏張りは汗切り用ビニールフィルムとする。

冬制服（男性）仕様書

この仕様書は、北秋田市消防本部にて調達する冬制服（男性）について定める。

- 1 数 量 内訳明細書のとおり
- 2 納入年月日 令和8年3月23日
- 3 納入場所 消防本部の指示通り
- 4 検 収 検収は消防本部係員が立合の上で行ない、場所は指定場所とする。
- 5 納品の保証 検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。
- 6 その他 供給業者は、本仕様に明記されてない事項についても当然必要と認められる場合は紳士既制服の縫製によること。
- 7 材料
 - イ 表地
 - ①規格 ニッケ#LS880 C/#E トップ染サージ。
 - ②品質 毛99、5% 制電性繊維0、5%CL（静電防止）
スーパーセルボニック（強撥水・防汚）加工
 - ③糸番手 径2/60× 緯2/60
 - ロ 裏地 東レ #303 C/#黒
静電防止・抗菌・防臭加工
 - ハ 袋地 4号スレキ綿100%
 - ニ フロント芯 特殊接着芯 ハスケル7661B 増芯毛芯
 - ホ 襟芯 ハスケル768
 - ヘ 袖裏 AP16500
 - ト 腰裏 T230 カラー紺 マーベルト ラッセル入
 - チ ズボン袋地 T230 カラー紺
 - リ 膝当地 人絹布
 - ヌ 付属釦 前釦消防章金属製釦 径20mm
内釦樹脂四ッ穴 タライ釦 径14mm
 - ル 前立 YKK製ファスナー
 - オ 肩綿 綿又は弾力性のある合繊

8 上衣仕様

- イ 型式 2ツ掛、6ツ釦、ダブル型、背抜裏・裁腹付仕立、衿ステッチなし
- ロ 飾りミシン 5mm ミシン飾り
- ハ 衿刺し 下衿は腰刺し7本以上、上衿は山刺し12本とし、衿腰は30mm
衿の返りは40mmとする。
- ニ 衿 衿付は縫い倒しミシン割り縫いとする。
- ホ 衿型 剣衿とする。
- ヘ バッチ穴 なし
- ト ポケット
- ① 胸ポケット
- ア) 左胸部に1ヶ付ける。
- イ) 左胸部内側身返しよりに『手帳吊ループ』をつける。
- ウ) 口布の巾25mm 口巾は115mm 深さ140mm。
- ② 腰ポケット
- ア) 両玉縁、雨蓋付とし、周囲に飾りステッチなし。
- イ) 左右腰部にそれぞれ1ヶを付ける。
- ウ) 雨蓋の巾は55mmとし、ポケット口巾は150mm 深さ200mmとする。
- ③ 内ポケット
- ア) 左右内側胸部にそれぞれ1ヶを付ける。
- イ) 両玉縁、三角雨蓋付14mm ハトメ穴とする。
- ウ) 口巾は140mm 深さ180mm。
- チ 裏 背抜裏仕立とする。
- リ ダーツ 胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割り縫い、
裏ダーツは片倒しとする。
- ヌ 肩縫い 表は割り縫い、裏は片倒しとし、肩綿を入れる。
- ル 袖付け 袖裏はまつり縫い又はミシン縫いとする。
- オ 袖 割り縫い、上袖は130mmの袖芯を入れる。袖蛇腹は袖口より110mmの位置に付ける。
袖周章用金銀線は蛇腹の袖口側に間隔なしで付ける。
左袖8cm下に指定のワッペン台座を縫い付ける。
- ワ 裾 フラシ奥縫いミシン縫い可、表地折込は40mm以上とする。
- カ 階級章台 右側胸部に二重織テープを階級章の座金が通るように二行に付ける。
- ヨ 釦ホール ハトメ機械穴とする。
- タ 衿吊り 衿腰中央に付ける。
- レ 品質表示 片布の下に付ける。

9 ズボン仕様 (株イマジョー製 TX1001)

- イ 型式 長ズボン、AJ 付き、裾シングル型、オビ付 (巾 35 mm)、左右ポケット。
- ロ 前タック 左右各 2 本を外向に付ける深さ 10 mm。
- ハ 腰裏 スベリ止め付きマーベルトを付ける。
- ニ ループ 上端より 10 mm 下に巾 10 mm 長さ 45 mm のループ 8 本を付ける。
- ホ 脇縫い 割り縫いとする。
- ヘ 脇ポケット 脇縫い前身上部で巾 50 mm 上端より 70 mm の位置で 150 mm のポケット口巾として、機械門をポケット上部下部に行う。
ポケットの深さは下部門より 120 mm 以上とする、ポケット巾は下部門の位置で 150 mm とする、上部門の位置にて白布の巾 80 mm 以上を袋地として縫い付ける。
袋の裾は縫い返し飾り 6 mm にて縫う。
- ト 内ポケット 右側内側に口巾 80 mm 丈 150 mm 下部巾 70 mm のポケットを付ける。
- チ 尻ポケット
ア) 左右後身上端より 80 mm の位置にポケットを付ける。
イ) 袋地はポケット位置に張り必ず腰かざり上部にかかる様に縫い付ける。
ウ) 口巾 140 mm で片玉縁にて、身頃にハトメ穴ボタンホールをかける。
- リ タック 尻ポケット巾の中に 2 条のタックをとる。
- ヌ 尻縫い 割り縫いし二重縫いにすると共に上部で 20 mm 以上の縫代とする。
- ル 前立天狗
ア) 前立はファスナー開きとし、持出し付きとする。
イ) 上部にカギホックを付ける。
ウ) 天狗に芯地布を付ける。
- オ 棒シック 小又門より後身に 70 mm 以上のシックを浮かし付ける。
- ワ ひざ当 両端がほつれない様縫い付ける。
- カ 裾 折り返しは 50 mm 以上とし巾 20 mm 丈 150 mm 以上の靴ズレをつける。
- ヨ 片布 右側脇ポケット上部中央に付ける。
- タ 品質表示 片布の下中央に付ける。

夏制服（男性）仕様書

1 件 名 夏制服購入

2 履行場所 北秋田市消防本部

3 品 名	(1) 夏制服 上衣半袖	T X 5 0 4 2
	(2) 夏制服 上衣長袖	T X 5 0 4 1
	(3) 夏制服 スラックス	T X 5 0 1 1 A J

4 予定数量	(1) 夏制服 上衣半袖	内訳明細書のとおり
	(2) 夏制服 上衣長袖	内訳明細書のとおり
	(3) 夏制服 スラックス	内訳明細書のとおり

5 納 期 令和8年3月23日

6 納品場所 北秋田市消防本部

7 そ の 他

- (1) 当夏制服の製作に要する費用は、当初に契約した見積り額のとおりとし、追加支出は一切認めない。従ってデザイン料その他について、問題等が生じた場合には受注者の責任において、解決するものとする。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用しなければならない。
- (3) 製作について、各部の縫い合せ部、貼り合せ部はすべて優良かつ均正がとれているものであり、欠陥（キズ、汚れ、ムラ等）がないよう充分配慮し行なわれなければならない。
- (4) 製品の納入は、事前に係員の指示に従い納入すること。
- (5) 納入は一括納入、または分割納入とし、その際係員の検査を受けること。（係員指示）
- (6) この仕様書に疑義を生じた時は係員の指示を受けなければならない。
- (7) 購入予定数は過去の納入実績を参考に算出した予定であり、必ず発注する数量であることを確約するものではない。

夏制服上衣（半袖）仕様書

1 型式

1) 上衣型式（半袖）

カッター衿型肩章付、前立て額付、半袖、左右胸ポケット雨蓋付

2) 材料

区 分	仕 様 書	用 途
表地	EWS 7 1 6 シャンブレ調 色相 当本部指定色 毛 3 0 % 再生ポリエステル 7 0 %	身頃、袖、ヨーク、 背、ポケット
衿芯	テترون プレス芯	
芯地	ポリエステル 6 5 % 綿 3 5 %	
衿吊	指定の物	
縫糸	ポリエステル 1 0 0 % # 5 0	
釦	ポリ釦 15mm×11 ケ	肩章、雨蓋、前立 て
マジック	YKK マジックテープ 25mm 巾	階級章台
ワッペン用マジック	YKK マジックテープ B (見本通り)	左袖

3) 条件

①針数

3 c m間で地縫は1 1 針以上、飾りは1 3 針以上、オーバーロックは8 針以上とする。

②穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立てはタテ、肩章、衿台はヨコとする。

③釦付

機械付又は手付とする。手付は2 本の糸を1 個の穴に3 ～4 回通し根巻は3 回以上とする。

④裁縫

糸調子は上下とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。縫糸はテترون糸を使用のこと。

4) 縫製

区 分	要 領
主衿	テトロン芯を入れ、衿巾は中央で 4.5cm（衿台巾 3.5cm）衿先巾 8.5cm とする。
前立て巾（額付）	上前部は巾 3.8cm とし、下前部は巾 3.5cm にて折り返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。
衿巾	衿巾は所定のものを衿付中央にはさみ縫付とする。
胸ポケット	胸ポケットは左右 2 ヲ所で雨蓋付とする。左右雨蓋はテトロン芯を入れる。雨蓋は巾中央で高さ 6.0cm（端部で高さ 4.5cm）横巾 14.0cm、胸ポケットは横巾 13.5cm、深さ 14.5cm、インダーツとする。雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可）
ワッペン用マジック台	左袖に袖付より 8.0cm 下がった位置にワッペン用マジック台を縫い付ける。
前立て	前立ては額付とし、ボタンを 5 個取り付ける。
肩当て	巾は中央で 12.0cm、背肩ヨークは二重仕立てとし、はさみ縫いとし、表一条飾りミシン縫いとする。
肩縫	片倒しくるみ縫いとする。
ネーム	別途指示通りにネームを入れる。
背タック	袖付より背中心へ 6.5cm 入った位置に深さ 1.5cm のタックを左右各 1 本づつとること。
袖口	三つ折り
片布	所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫付ける。
サイズ表示	衿付中央の下縁にはさみ縫付ける。
階級章棚	下前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に、タテ 2.5cm ヨコ 4.0cm のマジックテープを縫付ける。
肩章	巾は 5.0cm とし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチを入れること。肩章の先は衿付根部より 2.0cm 下がった位置とする。
裾折返し	裾は三ツ巻き縫いとする。

夏制服上衣（長袖）仕様書

1 型式

1) 上衣型式（長袖）

カッター衿型肩章付、前立て額付、長袖カフス式、左右胸ポケット雨蓋付

2) 材料

区 分	仕 様 書	用 途
表地	EWS 7 1 6 シャンプレー調 色相 当本部指定色 毛 3 0 % 再生ポリエステル 7 0 %	身頃、袖、ヨーク、 背、ポケット
衿芯	テترون プレス芯	
芯地	ポリエステル 6 5 % 綿 3 5 %	
衿吊	指定の物	
縫糸	ポリエステル 1 0 0 % # 5 0	
釦	ポリ釦 15mm×11 ケ	肩章、雨蓋、前立 て、カフス
マジック	YKK マジックテープ 25mm 巾	階級章台
ワッペン用マジック	YKK マジックテープ B (見本通り)	左袖

3) 条件

①針数

3 c m間で地縫は1 1 針以上、飾りは1 3 針以上、オーバーロックは8 針以上とする。

②穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立てはタテ、肩章、カフス、衿台はヨコとする。

③釦付

機械付又は手付とする。手付は2 本の糸を1 個の穴に3 ～ 4 回通し根巻は3 回以上とする。

④裁縫

糸調子は上下とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。縫糸はテترون糸を使用のこと。

4) 縫製

区 分	要 領
主衿	テトロン芯を入れ、衿巾は中央で 4.5cm（衿台巾 3.5cm）衿先巾 8.5cm とする。
前立て巾（額付）	上前部は巾 3.8cm とし、下前部は巾 3.5cm にて折り返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。
衿巾	衿巾は所定のものを衿付中央にはさみ縫付とする。
胸ポケット	胸ポケットは左右 2 ヲ所で雨蓋付とする。左右雨蓋はテトロン芯を入れる。雨蓋は巾中央で高さ 6.0cm（端部で高さ 4.5cm）横巾 14.0cm、胸ポケットは横巾 13.5cm、深さ 14.5cm、インダーツとする。雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可）
ペン指し	左胸ポケット雨蓋の中央部から 3.5cm 内側に入った所に巾 2.0cm のペン指しを設ける。
ワッペン用マジック台	左袖に袖付より 8.0cm 下がった位置にワッペン用マジック台を縫い付ける。
前立て	前立ては額付とし、ボタンを 5 個取り付ける。
肩当て	巾は中央で 12.0cm、背肩ヨークは二重仕立てとし、はさみ縫いとし、表一条飾りミシン縫いとする。
肩縫	片倒しくるみ縫いとする。
ネーム	別途指示通りにネームを入れる。
背タック	袖付より背中心へ 6.5cm 入った位置に深さ 1.5cm のタックを左右各 1 本ずつとること。
袖口	カフス付でカフス巾 6.0cm とし開きは 12.0cm とする。
片布	所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫付ける。
サイズ表示	衿付中央の下縁にはさみ縫付ける。
階級章棚	下前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に、タテ 2.5cm ヲコ 4.0cm のマジックテープを縫付ける。
肩章	巾は 5.0cm とし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチを入れること。肩章の先は衿付根部より 2.0cm 下がった位置とする。
裾折返し	裾は三ツ巻き縫いとする。

夏制服スラックス仕様書

1 概要

ワンタック、長ズボン、腰帯付、ウエスト調整用アジャスター付き、裾口シングル、両脇ポケット、左右尻ポケット付き。

2 材料

ア 素 材 : ニッケ 制電・ストレッチトロピカル<EW7360>
静電防止
イ 混紡率 : 毛 30% 再生ポリエステル 69.5%
制電性繊維 0.5%
ウ 色 相 : C/# M145 (指定色)
日立カラーアナライザー C-2000S使用

3 縫製条件

(1) 針 数

3cm間で地縫いは、12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

下衣は鳩目穴小門止めとする。

(3) ボタン付け

機械付け又は、手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。縫い糸はテترون糸を使用すること。
また、糸始末を丁寧に行うこと。

4 縫製

(1) ズボン

(ア) 前タック

左右各2本を外向けに付け、ワンタックとする

(イ) 腰帯

帯巾3.5cm仕上り寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルト（滑り止め）を付ける。
ウエスト伸縮できるアジャスターを取り付ける。

(ウ) ループ

上部より1cm下にループ巾1cm、長さ5cmのループを8本付ける。ただし、後ろ

中心のループは2本とする。

(エ) 脇ポケット

両脇口の個所に0.6cmの飾りを掛け、他は割り縫い、口巾15cm、深さ上門より27cm、袋巾16cmとし、向当布を内外につけ、口端に門止めをする。右袋内に共生地で小物ポケットを縫い付ける。

(オ) 尻ポケット

上端より9cm下に口巾14cm、深さ18cm片玉にて左右に蓋なしのポケットを付け、左はボタン止めとする。ポケット両口端にはそれぞれ門止めとする。

(カ) 相引き・内股尻縫い

裁ち目はオーバーロック、内股、尻縫いはミシンで2回縫いし、特に尻縫いは、糸切れを防ぐため、伸ばして地縫いする。

(キ) 棒シック

袋地使用、尻縫目にミシン目が表に出ないように長さ10cm、巾2cmのものを付ける。

(ク) 裾口

折り返しは3cm以上とし、オーバーロック掛けミシンたたきとする。

(ケ) 片布

上前、脇ポケット裏に上衣と同等の片布を付ける。

(コ) サイズネーム

上前、腰裏に取り付ける。

(サ) 穴かがり

機械穴、鳩目とする。

上衣寸法表

(男性用)

	着丈	胸囲	肩巾	袖丈 (長)	袖丈 (半)
A S	78	100	43	53	26
A M	80	105	44	55	27
A L	82	110	46	57	27
A L L	84	115	48	59	28
A 3 L	86	118	49	63	29
B S	78	108	45	52	—
B M	80	114	47	54	28
B L	82	120	49	56	28
B L L	84	124	51	56	28
B 3 L	86	128	53	60	29

ズボン寸法表

(男性用)

	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6
腰廻	70	73	76	79	82	85	88	91	95	100	105	110
股下	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
ワタリ巾	33	33	34	34	35	35	36	36	37	38	39	40

夏冬活動服（上下）仕様書

1 概要

この仕様は、北秋田市消防本部における消防吏員用夏冬活動服(上下)について定める。

2 総則

- (1) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (2) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (3) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (4) この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。

3 型式

(1) 上衣

台衿付きレギュラーカラー、前立て比翼付ファスナー、左右胸雨蓋付きアウトポケットファスナー付、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、長袖カフス付きファスナー止め、右胸階級台マジック付き、後ヨーク切り替え、後ろヨークに指定文字プリント入り、裾シャツ型

(2) ズボン

ワンタック、両脇ポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、ウエスト全周囲ストレッチ機能

(3) 女性用

女性用の型式で、サイズ構成も女性用とする。

4. 主材料

使用表生地材料

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチツイル S 2 4 1 2

イ 色 相 : C / # ROB ロイヤルブルー (指定色)

使用副生地材料

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチツイル NX 4 0 4 0 S

イ 色 相 : C / # オレンジ (指定色)

使用表生地材料

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチトロピカル S 2 4 1 8 S

イ 色 相 : C / # ROB ロイヤルブルー (指定色)

使用副生地材料

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチトロピカル NX 4 8 4 8 S

イ 色 相 : C / # オレンジ (指定色)

5. 縫製条件

ア. 針 数

3 c m間で地縫いは1 2 針以上、飾り縫いは1 2 針以上、オーバーロックは8 針以上とする。

イ. 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2 本の糸を1 個の穴に3 ~ 4 回通し根巻きは3 回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

F A T Hデザインに基づく立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

6. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

衿には芯を入れる。台衿は表裏を縫い合わせ、台衿で上衿を挟み地縫いし表よりステッチで押さえる。衿外回りに 10mm 巾のオレンジ色の別布を縫い合わせる。

イ. 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より 6mm 幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横にマジックテープを 3ヶ所取り付け。左上前見返し側にマジックテープ（オス）、右下前にマジックテープ（メス）を付ける。

女性用は、前合わせ部上前、下前を男性用と反対にする。

ウ. 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型釦止め、肩先付け位置幅 50mm、長さ 150mm とし、周囲には 6mm ステッチをかける。肩先側は袖付け根に挟み、袖側より 40mm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は穴かがりの釦止めとする。

エ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。左胸切り替え位置上、雨蓋長さの中心に、六角形（縦 40×横中心 110・上辺と下辺 90）のマジック台座を縫い付ける。

オ. 胸ポケット・雨蓋

雨蓋は左右の胸ヨーク切り替え線に挟み付ける。長さ 150mm、周囲にステッチをかける。蓋は、面ファスナー止めとしマジックテープ 25mm×35mm を付ける。マジックテープのオス・メスの色は、生地と同色とする。取付位置は、発注者と協議する。

左雨蓋の前中心側に約 25mm のペン刺し口を設ける。

ポケットは左右の胸ヨーク切り替え位置より 15mm 下にアウトポケット口幅 145mm、中心の深さ 160mm にコバステッチで周囲を付ける。ポケットの中心に、インダーツを付け配色はオレンジとする。ポケット口に両開きファスナーを付け上部は雨蓋に挟み込み下部はポケット口に縫い付ける。

カ. 階級章留め

右胸ポケット切り替え位置より 15mm 上、フラップの長さの中心やや脇側にアドバンス階級章用（幅 25mm×長さ 40mm）のマジックテープ（メス）を取り付ける。マジックテープの色は、胸ヨーク生地と同色とする。

キ. 後ヨーク

表ヨークと裏ヨークで後ろ見ごろを挟み縫いし、表ヨークのみ 5mm の飾り縫いとする。表ヨークは、配色生地を使用する。後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約 19cm（サイズにより変動）とする。ヨークの表には、ネイビー（指定色）にて「北秋田市消防本部」を太字丸ゴシック体で縦 50×横 297 のサイズでプリントする。

ク. 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm 幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上にも脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

ケ. 袖

2 枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に 2 本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

コ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とし 5mm 幅ステッチをかける。

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm とし、口の上下端に閉止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、青色の袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの

袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。

ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ. 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各 1 個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、青色の袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。ボタンの色は、表生地と同色とする。

カ．腰帯

マーベルト付きとし、幅約 40mm にストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出す事とする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。男性用・女性用ともにファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ．ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後 2 カ所、合計 8 本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ク．シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

ケ．脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

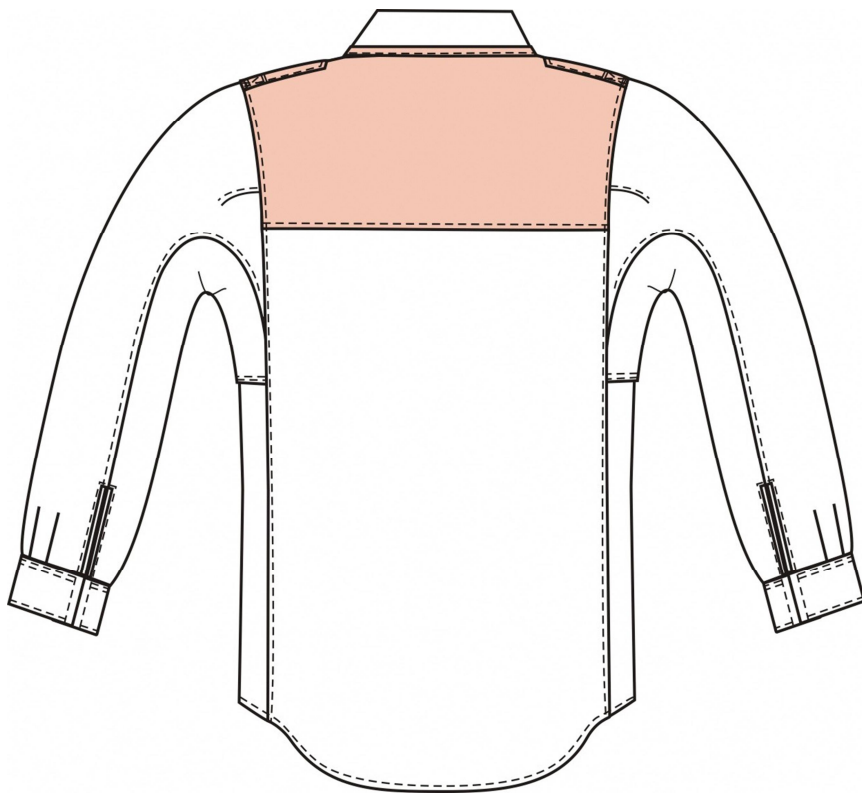
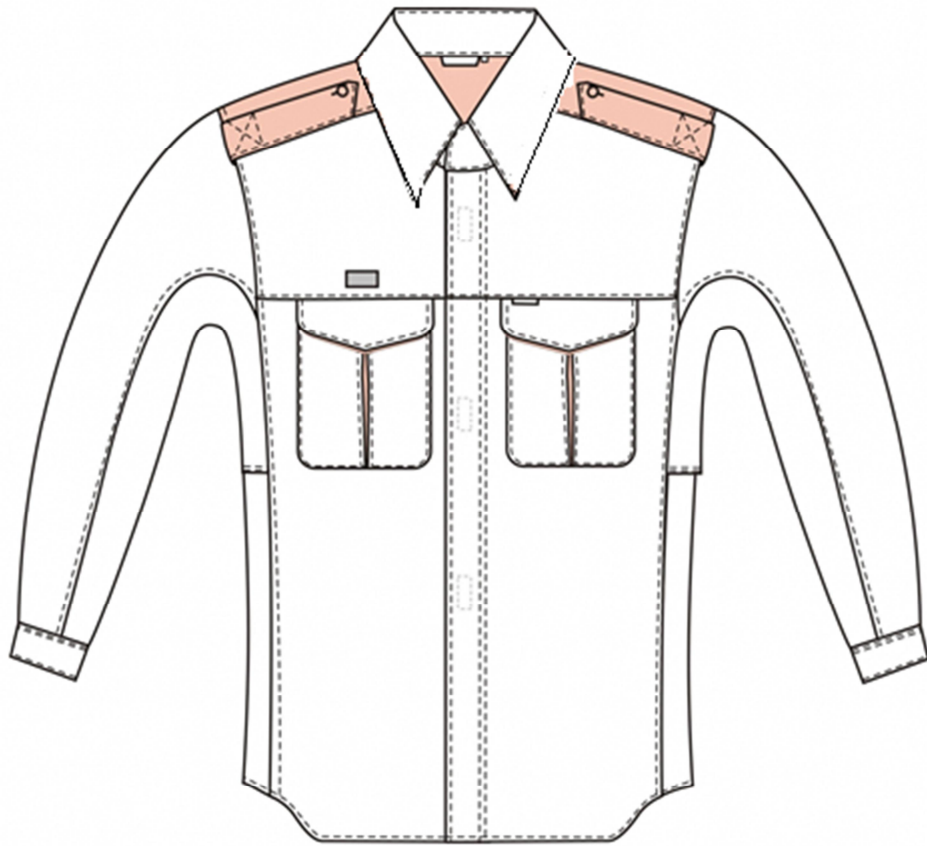
7. 寸法表

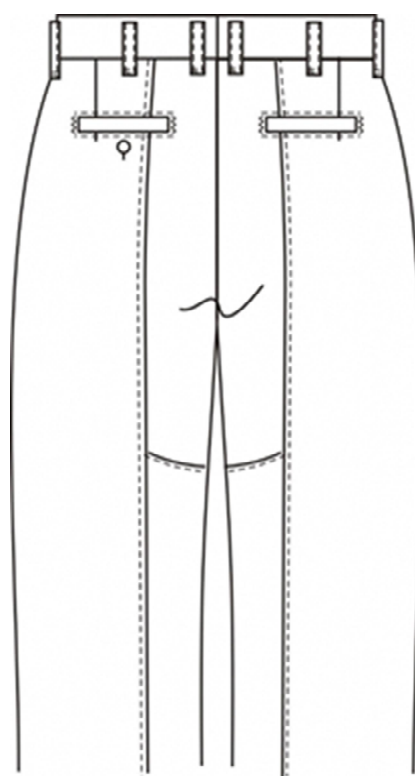
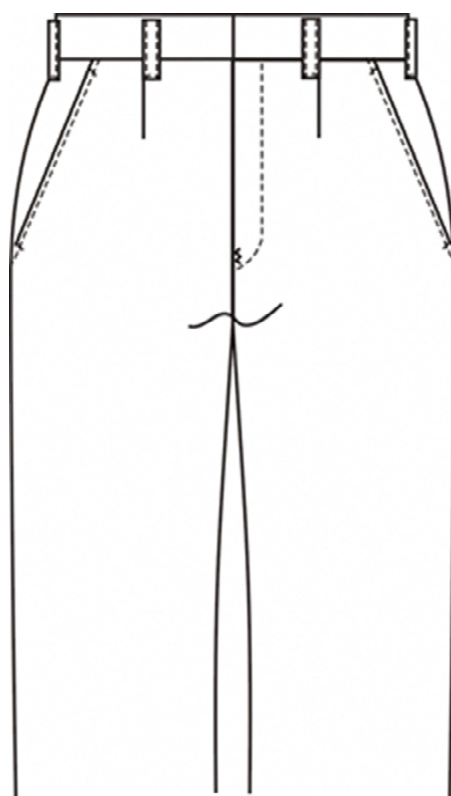
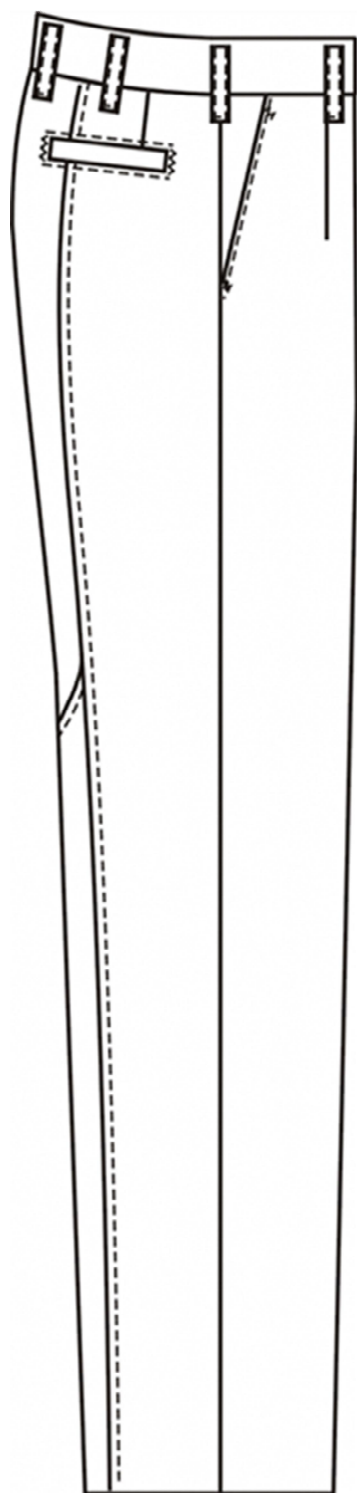
活動服上衣サイズ表

部位 サイズ	着 丈	肩 幅	胸 囲	胴 囲	衿 丈	ネック回り
A S	7 3	4 4	1 0 0	9 2	7 5	3 9
A M	7 5	4 6	1 0 5	9 7	7 8	4 0
A L	7 7	4 8	1 1 0	1 0 2	8 1	4 1
A L L	7 9	5 0	1 1 5	1 0 7	8 4	4 3
A 3 L	8 1	5 2	1 2 0	1 1 2	8 7	4 5
A 4 L	8 3	5 4	1 2 5	1 1 7	9 0	4 6
B S	7 3	4 8	1 1 0	1 0 7	7 5	4 3
B M	7 5	5 0	1 1 5	1 1 2	7 8	4 5
B L	7 7	5 2	1 2 0	1 1 7	8 1	4 7
B L L	7 9	5 4	1 2 5	1 2 2	8 4	4 9
B 3 L	8 1	5 6	1 3 0	1 2 7	8 7	5 1
B 4 L	8 1	5 8	1 4 0	1 3 7	8 8	5 3
B 5 L	8 1	6 0	1 5 0	1 4 7	8 9	5 5

活動服下衣(ズボン)サイズ表

部 位 サ イ ズ	ウエスト
A 1	7 0
A 2	7 3
A 3	7 6
A 4	7 9
A 5	8 2
A 6	8 5
A 7	8 8
B 0 0	8 2
B 0	8 5
B 1	8 8
B 2	9 1
B 3	9 5
B 4	1 0 0
B 5	1 0 5
B 6	1 1 0





エミユ救助服仕様書

[CX－2940 OR]

TS 型

北秋田市消防本部

第1章 総 則

1 目 的

この仕様書は、北秋田市消防本部（以下「消防本部」という。）が令和7年度において購入する救助服について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 概 要

購入する物品は、救助服上下とする

3 条 件

- (1) 過酷な使用に耐える優れた強度を有すること。
- (2) 使用する材料及び付属品は、十分に品質管理を行ったものである。
- (3) 紡績糸は糸むら、織きず、縫り等のないものを、また織り上がりは均整で、糸節、汚れ等の欠点がないものを使用すること。

4 その他

- (1) 契約後、消防本部と本仕様に基づき詳細な打ち合わせを行った後、製作工程に入ること。
- (2) 契約後、紡績メーカーが発行する原反出荷証明書を提出すること。
- (3) 受注者は納入前に自主検査を実施するとともに、製作工程において品質管理の適正を図ること。
- (4) 本製作に要する全費用は、当初に契約した額とし、追加支出は一切認めない。
- (5) 工業所有権に関する法令に抵触しないよう十分留意すること。なお、問題が生じたときは受注者側において解決すること。
- (6) この仕様書に疑義が生じたときは、消防本部の指示を受けること。

第2章 仕 様

1 救助服（型式）

(1) 上衣

長袖型・折り衿・前合わせは、ファスナー止め、胸ポケットは、ファスナー開閉両玉縁アウトポケット。袖口ファスナー開閉式、カフス仕立て。

(2)ズボン

長ズボン裾シングル型、脇ポケットはファスナー開閉式アウトポケット、ベルト付前立てファスナー止め。

(3) 耐用年数経過後は回収することにより、リサイクル（マテリアルリサイクル）を可能なことの証として、上下とも指定位置にリサイクルマークを取り付ける。

2 表生地

(1) 種類

芳香族ポリアミド先染めサージ導電繊維混入 帝人CX-2940

(2) 混紡率

メタ型芳香族ポリアミド原液着色サージ（制電糸織り込み） 93%

パラ型芳香剤ポリアミド 7%

3 条件

（1）針数

針目数は3cm間に飾りステッチ、刺し、共に10針以上とする。

（2）縫製糸

メタ型芳香族ポリアミド40番オレンジとする。

（3）裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし、返し針を完全にする。

（4）その他

別図通りにする。

4 縫製要領

1 上衣

（1）衿

ア 表生地 of 芯を入れた折り衿とする。

イ 衿幅は、中央で約10cm、剣先においては約8cmとし、衿裏の山刺しは24本以上とする。

ウ 衿台は、幅約5cmの山形衿腰を切り替えしに付け、腰刺しは5本以上とする。

エ 剣先裏部分は、幅約2cm、長さ2.5cmの面ファスナーを縫い付ける。

（2）身頃

ア 前中心は、YKK—5番・に直接、直径2.5cmの丸環付きファスナーを衿付根から身頃と見返しに挟み縫いをする。

前身頃のファスナー開口部は、左右とも前身頃端に芯糸を入れる。

イ 幅約2.5cm・長さ約4cmのオレンジ色階級章取り付け用面ファスナーを前面右胸ポケット上部押さえ縫い線から約1cm上部に縫い付ける。

ウ 幅約5cm、長さ約10cmのオレンジ色名前章用面ファスナーを前面左胸ポケット上部押さえ縫い線から約1cm上部に縫い付ける。形状は打合わせ時に指示決定する。

エ 前面左胸の名前章は、マジック式のネーム札を取付し着脱可能とすること。また、ネーム札には「北秋田市消防本部」と「隊名、氏名」を2段書きとする。

オ 脇・肩縫いは、地縫い後片倒し、一条飾り縫いを施す。

肩章はつけない。

カ 裾は、幅約2cmの3つ折り縫いとする。

キ 前身頃刺し子は、胸ポケット下端から前身端にかけて表生地を2枚重ね、刺し幅1.5cmの刺し子を入れる。下部は二条縫いとする。

ク 後身頃刺し子は、衿付け後ろ中心から25cm下りとし表生地を2枚重ね、刺し幅1.5cmの刺し子を入れる。下部は二条縫いとする。

ケ 背部に消防本部指定の文字を入れる。「北 秋 田 消 防」とプリントする
K I T A A K I T A F.D.」

(3) 袖

ア 一枚袖とする。

イ 袖縫いは、インターロック・片倒し、一条飾り縫いを施す。

ウ 袖口はYKK 5 番 1 4 cm のファスナーで開閉するものとし、深さ約 1 . 5 cm のツマミヒダを 2 本とり、表生地 of 芯を入れたカフス式とする。

開き口は水かきを付け、ファスナーは表地と水かきに挟み縫いをし、開き口の端で約 1 0 cm、端部は 0 . 5 cm の三つ折縫いとする。

カフス幅 6 . 5 cm とする。

エ 肘当ては角を小丸とし、表生地を 2 枚重ね、刺し幅 1 . 5 cm の刺し子を入れ、二条縫いで縫い付ける。

オ 袖底は、地縫い後片倒し、一条飾り縫いを施す。

裁ち目はオーバーロック掛けを施す。

カ 袖、裾の調整は基準サイズから 1 cm 単位で行う。

キ 左袖上腕付近に消防本部指定のワッペン受台を縫い付けること。

(4) 胸ポケット

ア 左右前身頃にアウトポケットを各 1 箇所、二条縫いで縫い付ける。

イ ポケット口は両玉縁で、つまみ革付ファスナーを一条縫いで縫い付ける。

ウ ポケット底は約 1 . 5 cm の角落としとする。

2 ズボン

(1) 身頃

ア 脇・尻縫いは、地縫い後片倒し二条飾り縫いとする。

内股縫いは二重環縫いとし、刺し子部分は、一条飾り縫いを施す。

イ 前身頃・後身頃刺し子は、ポケット下端まで表生地を 2 枚重ね、刺し幅 1 . 5 cm の刺し子を入れる。下部は二条縫いとする。

ウ 膝当ては角を小丸とし、表生地を 2 枚重ね、刺し幅 1 . 5 cm の刺し子を入れ、二条縫いで縫い付ける。

(2) 脇ポケット

ア 箱形アウトポケット三方風きんとし、左右に各 1 個を縫い付ける。

イ ポケット口は、つまみ革付ファスナー開閉式とする。

ウ ハーネスを着用した状態で使用できること。

(3) 前立て及びシック

ア 前合わせファスナー式とし、ファスナー止まり下部に門止めを施す。

イ 棒シックは、幅約 2 cm ・長さ約 1 3 cm のものを取り付ける。

(4) ウエスト

ア 帯幅は4 cmとし、表地裏に接着付きベルト芯を貼り、内側は腰裏マーベルトを縫い付ける。

イ ベルト通しは、有効幅10 cm・有効長さ6 cmとする。

位置は、後中央に1本、左右に各2本の計5本とし、ベルト上端から約2 cmに上部は袋付け、下部は二条縫いで縫い付け、両端に閉止めを施す。

ウ 前端上ベルト部分は、直径2 cmの釦止め式とする。

(5) 裾口

ア 折り返し幅約4 cmの3つ折りで縫い押さえ、裾口に紐を入れ踵止めゴム紐を縫い付ける。

第3章 補 則

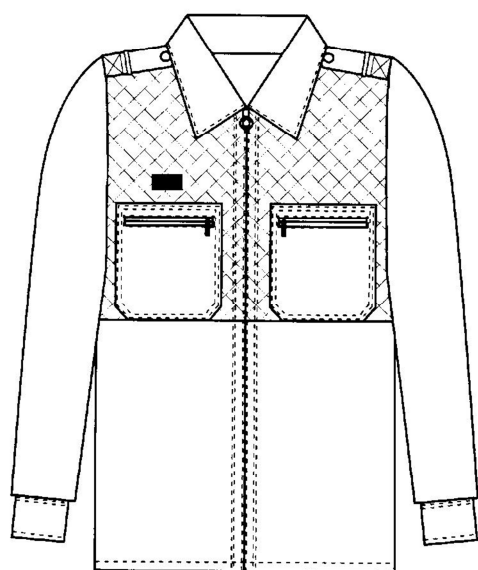
- 1 契約後、サイズ合わせを概ね5日間実施するためサイズ見本を早急に準備すること。
- 2 上衣のバックプリント及び左胸ネームの字体は打合わせ時において指示決定する。
- 3 納入は発注書に基づき個人ごとに袋詰めし、表面に氏名、サイズを表示すること。
- 4 納入時の検収において不備が発見されたとき、又はそれ以後において瑕疵が発見されたときは、直ちに無償で改善又は新品と交換すること。



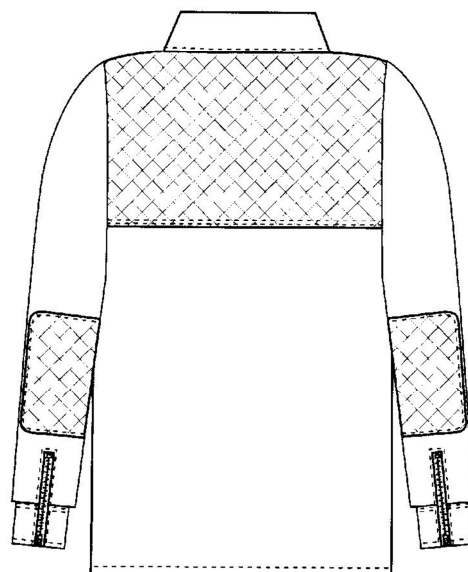
後 面

救助服 TS型

●上衣

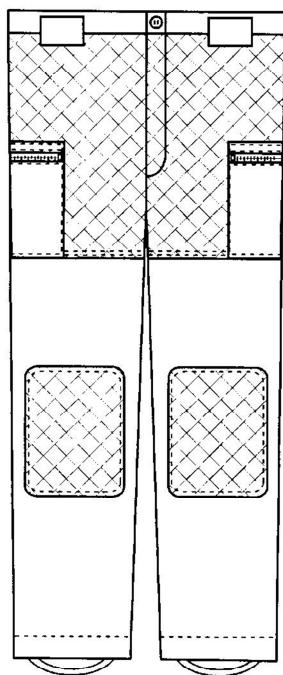


前面

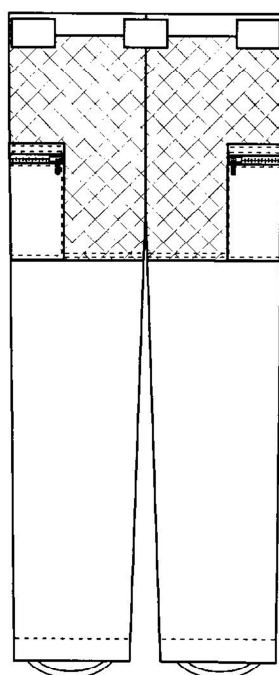


後面

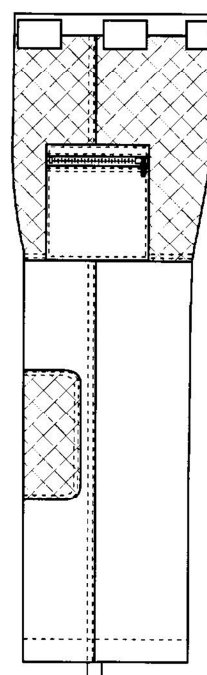
●ズボン



前面



後面



側面